

令和8年9月第3回 木島平村議会定例会 行政事務一般質問通告書

【木島平村議会議員 関 達夫】

質問事項	質 問 要 旨	答弁者
1. 人口は減っても住みやすさを増やす	昨年の国勢調査の速報値が公表された。当村は県内77市町村中減少率が10.6%で15番目である。総合振興計画での人口対策事業を行っているが見込み数と大差はなく推移している。都市部では増えているところも一部あるが、我が国の人口減少幅は深刻である。今後社会生活の骨幹が変わってくる。地方では人手不足で既存の産業が育たなくなり、働く人の高齢化も進み経済活動は縮小するだろう。村のインフラコストも村民では負担できなくなってくる。村長はこれらの対策をお考えだと思うが、村での出生数はたぶん増えないだろう。 ① 村の経済を支える商工業者も人口が減る中で事業展開も大変だ。事業承継、後継者問題など悩みも多いとされ、商店も減少しているために、中小事業者事業承継、創業支援策が制度としてあるが何件利用されているか。支援策は十分か。また、地元利用が大切だと思うが、役場は物品購入など全利用し、村内経済を回しているか。 ② 西町区での懇談会において、区の活動、事業、環境整備など人不足で苦慮していることについての質問に対し、補助金などに頼らない集落の維持について、村内各集落の運営状況の現状を各区に提供し、かつ、集落の実態を調べ、どのような工夫が必要か検討するとお聞きしたが、各区長あてに聞き取り調査はされたか。変化が速い世の中で、いかにここが住みやすいと感じるかが必要である。村長はどう考えるか。 ③ 行政事務コストを負担軽減しながら、村民サービスに回す努力も必要と考える。人口の減少とともに上下水道料金、村税、保険料など減少して行くなか、今後住民負担の増も必要になってくると思う、職員の人件費などはDX化で軽減できるが、七か七システムに係わる費用は多額になる。ならば北信広域6市町村で広域化できる業務は共同化を図るべきと思うが、どのような業務での広域化が可能か。国保、介護保険 後期高齢者医療、消防、ごみ処理などはどうか。6市町村の共通課題として事務の効率化業務の共同化、など現状の分析とこれからについて伺う。	村 長
2. 村税等の未納金対策について	6月議会において、村の債権放棄の事案が2件あった。手を尽くしても致し方ないことはあるが、反省点を生かしているか伺います。令和7年度の決算報告によると、村税、上下水道料金、国民健康保険税の未納が多額に存在する。以前の一般質問において、未納金などの専門担当部署、係を設けて一元管理を提案した。公正、公平な税の負担を求めるのが基本であり村長にはその管理責任がある。 それぞれの担当者の多岐に及ぶ業務、事務引継ぎなどマニュアル化され、円滑な業務で遺憾ないようされていると思うが、人の仕事にミ	村 長

令和8年9月第3回 木島平村議会定例会 行政事務一般質問通告書

【木島平村議会議員 関 達夫】

質問事項	質 問 要 旨	答弁者
3. 米どころ木島平をもっと主張しよう	スは付き物だ。そのために管理者の検証は適切か。指導は充分か。未納金などの債権管理業務にチェック機能は働いているか。法的に回収不可となることはあってもそれに至るまでの管理手法が重要である。反省を生かさないといけない。欠陥があれば、重大な村民へのサービス低下となる。 ① 決算における未入金^{こめぐに じょうじょうきち}は村税、国保税、上下水道料での総額と総件数は。また、重複者がいると思うが、日々の管理方法は。 猛暑が続く毎日である、「米国の上々吉の暑さかな」一茶である、いい米が出来るよう氏神さんをお願いした。 令和8年度の生産者の米の価格はどうか 昨年の価格高騰により、消費が減ったことと、輸入米の増加で食料自給率も1%ダウンの37%だという。今年の米の値段が悩ましくなる。米余りと言われ、すでに昨年を大きく下回る数値で各県のJA概算金が出ている。 米どころ木島平米を積極的に売り込まないとコメの産地として生き残りに負けてしまう。この秋、災害もなく豊作を願うが、その時の対策はできているか、村の農業をもっと元気にしないといけない。価格の下落に村長はどのような危機戦略を持っているか伺う。 ① 令和7年度は取引価格が大幅に引き上げられ農家はいっぷくできたと思う。しかし、それまでが安すぎたのだ。村のブランド米「村長の太鼓判」はどうであったか。反省点は何かか。今年の戦略は。 ② 米のブランド化と生産者の努力により、米食味分析鑑定コンクールでは10年連続受賞の栄誉を受けた。生産資材など物価高で経営収支は厳しく、令和9年度は食品に係る消費税率の引き下げで、小農家の益税が無くなる。生き残りの対策は生産者への金銭の補助や支援策も必要だが、がむしやらに木島平米をどのように売るか^の宣伝力が農家にとって力になる。村の商工業、観光業との連携はどうか。村を上げてやるべきだ。農家生き残りのためにどんな対策を考えているか。 ③ 低価格と米余りとなると、今の施策では今後の米作り農家は厳しくなる。手間のかかる中小水田、傾斜地の水田は担い手農家も栽培できなくなり不耕作が進む。直接支払い交付金、多面的交付金で励まされても農家は苦勞するばかりだ。農業再生協議会の内容は理解しているが、国の交付金などの施策のみで農家経営をしっかりと支えられるか。	村 長

令和 8 年 9 月 第 3 回 木島平村議会定例会 行政事務一般質問通告書

【木島平村議会議員 関 達夫】

質問事項	質 問 要 旨	答弁者
4. 次期村長選について	日墓村長は令和9年2月21日任期満了となる木島平村長選挙に出馬されるか伺う。	村 長